

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		特別支援教育設備整備費等補助		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		昭和32年度		担当課室	特別支援教育課		特別支援教育課長 千原由幸		
会計区分		一般会計		施策名	Ⅱ-10 特別支援教育の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		—		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において教育上必要となる以下Ⅰ～Ⅲの設備等の整備に要する経費について補助するものである。(補助事業者 …… 学校法人)							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		Ⅰ. 特別支援教育設備整備事業 … 障害状況に応じた適切な教育を実施するにあたり、特別に必要となる設備整備に要する経費 Ⅱ. 最新の情報機器等整備事業 … 障害のある児童生徒の情報教育において、視覚障害児・肢体不自由児・知的障害児など障害の種類や程度に応じた特別な情報機器の整備に要する経費 Ⅲ. 学校安全設備整備事業 … 学校における突発的な事件・事故に対応するため、特別支援学校等において、障害による種々の困難に特別に配慮した安全管理に必要な設備整備に要する経費 (補助率 …… 1/2)							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	5	5	4	2	2	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	5	5	4	2	2	
		執行額		4	3	2			
執行率(%)		80.0%	74.0%	50.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		本事業は、特別支援教育の推進を図る目的で行われる事業であり、その成果は年度毎の定量的なデータで示すことができるものではない。		成果実績	人				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		特別支援教育関係の設備整備の事業の実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	2	4	1 (-)	— (-)
単位当たりコスト		2(百万円/件)		算出根拠	2百万円/1件				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	学校教育設備整備費等補助金		2百万円	2百万円					
	計		2百万円	2百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	不用額を生じたのは、事業計画が予定を下回ったため。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○事業者が提出する事業計画書や実績報告書・成果物等により審査を行い、必要に応じて、関連資料の提出や電話での聞き取り調査等により実態把握を行っている。なお、実績報告書等の内容については、費目別・用途別で具体的に記載することとしている。また、設備購入明細などの書類を添付することとしており、記載内容の精査にあたっては複数人で行っている。</p> <p>○平成23年度予算については、過去の執行状況等を踏まえ事業規模の縮小を行った。実態把握については、従前より完了報告書の内容を複数人で精査するなど努めているところだが、今後は必要に応じて執行見込み調査等を行い、さらなる予算の効率的・効果的な執行に努める。</p>		
	一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、特別支援教育を推進するため、私立の特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級において教育上必要となる教育設備整備事業等の整備に要する経費について補助する事業であり、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、昭和32年度から行われている長期継続事業であるが、特別支援教育の推進を図るため引き続き実施すべき、必要な事業である。しかしながら、これまでの事業の成果の検証を行い、事業の必要性・有効性についての検証を行うことにより、予算の縮減を図る必要がある。また、平成22年度において予算に不用が生じている。平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っているが、平成24年度概算要求においても、引き続き事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト削減等に努めるべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度概算要求については、過去の執行状況等を踏まえ、縮減を行い、概算要求に▲0.26百万円反映した。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
2百万円

私立特別支援学校等の設置者が特別支援教育の設備を整備するために、これに要する経費の補助



A. 特別支援教育設備整備費
補助事業:2百万円

東京都

※法令等に基づき、国に代わって補助事業者への支出を行うものであり、都道府県において物品調達等を行っていない。

私立特別支援学校等の設置者が特別支援教育の設備を整備するために、これに要する経費を支出



〔公募・補助〕

B. 特別支援教育設備整備費
補助事業:2百万円

学校法人旭出学園

〔特別支援教育関係の設備整備事業の実施〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. 東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	学校教育設備整備費等補助金の支出	2			
計		2	計		0
B 学校法人 旭出学園			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設備整備費	最新の情報機器等整備(サーバー等)	2			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 特別支援教育設備整備費補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	私立特別支援学校の設置者が特別支援教育の設備を整備するために必要な経費を支出。	2	—	—

B. 特別支援教育設備整備費補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人旭出学園	障害の状況に応じた適切な教育を実施するにあたり、特別に必要となる設備の整備に要する経費について補助するものである。	2	—	—

※本件は、補助事業である。